

平成30年度 学校評価シート

学校名：和歌山工業高等学校(定時制) 学校長名：田村光穂 印

めざす学校像 育てたい生徒像	生徒が輝く学校、地域とともにある学校、教師が夢を語る学校の3つの基本姿勢のもと、生徒・保護者・地域・教職員にとって魅力ある工業高校を目指す。
-------------------	--

本年度の重点目標	1 生徒の努力や教育活動を積極的に情報発信し、信頼される学校づくりに取り組む。
(学校の課題に即し、精選した上で、具体的かつ明確に記入する)	2 ICT活用など、個に応じた指導方法の工夫・改善による、わかる授業づくりに努める。
	3 規則正しい生活と礼儀正しい行動ができ、落ち着いて学習に向かう態度を育成する。
	4 勤労と学業の両立を奨励し、主体的な進路選択を実現できる進路指導に努力する。

中期的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティスクールとして、地域連携や地域貢献を軸に、地域とともにある学校づくりの具体化に取り組む。 ○規律の中から生まれる自立心を基盤として、確かな学力の定着を図るとともに、ものづくりに関する創造性を伸ばし、自ら学び続ける力を育成する。 ○キャリア教育の充実に取り組み、希望進路実現のため、生徒に主体的に進路選択できる能力を育てる。
--------	--

学校評価の結果と改善案の公表の方法	自己評価及び学校関係者評価の結果を、インターネットのホームページを利用することで、保護者をはじめ広く公表していく。
-------------------	---

達成度	A	十分に達成した。(80%以上)
	B	概ね達成した。(60%以上)
	C	あまり十分でない。(40%以上)
	D	不十分である。(40%未満)

(注) 1 重点目標は3～4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2 番号欄には、重点目標の番号を記入する。 3 評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。
 4 年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

自己評価							
重点目標			年度評価(2月15日現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的取組	評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善方策
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの構成法が古く、業務の引継ぎが難しい。更新にも条件があり遅い。 ・最新情報の発信が、転編入試験以外は、ほぼマンスリータイムズのみになってしまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアル ・マンスリータイムズ以外の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページビルダーなどの市販ソフトの導入により、ホームページを刷新するとともに、誰もが更新作業等に関われるような環境を構築する。 ・ホームページのリニューアルに伴い、様々な形での情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月末までのホームページのリニューアルをめざす。 ・2学期以降の情報発信の方法、形式を増加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアルは11月中旬になってしまったが、見た目や機能を一新し、スマートフォンでも見やすい仕様で作成できた。 ・在校生向けの情報発信や行事報告などマンスリータイムズ以外の情報発信を充実させることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の利用が少ないことから、生徒・保護者への周知や利用しやすい内容・機能となるよう、さらに工夫を加える。 ・外部の方に対する効果的な情報発信となるよう、研究、工夫を重ねる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力が不十分な生徒や、学習意欲が低い生徒が多い。 ・教材の工夫、学習への動機付け等、生徒の実態に応じた授業改善の取組が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の充実 ・ICTの活用 ・授業研究の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートルームの活用により、興味のわく授業展開、わかりやすい授業づくりに努める。 ・スマートルーム、通常教室の別なく、授業研究を通じて、教員の授業改善の意識向上を図り、教員の成長を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の向上がみられるか。 ・生徒の学校評価における達成度75%以上の維持。 ・教養科1名、専門各科1名以上の授業研究を、年1回以上実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・F L Tや理科の授業で、積極的にスマートルームを活用した。 ・生徒からの評価は、わかりやすさでは77%、授業の工夫では79%であった。 ・各科目それぞれで動機付けなど授業に工夫を加える取組を行ったが、授業研究を行うまでには至らなかった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も、スマートルームの活用による授業を通して興味のわく授業、わかりやすい授業づくりに努める。 ・学習習慣が身に付いていない生徒が多いため、学び直しも視野に入れたシラバスや教育課程を検討する。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な課題、困難を抱えた生徒が多く、基本的な生活習慣が身につけていない。 ・特に1学年において、授業への取組姿勢に課題がある生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の取組 ・特別活動の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒との信頼関係の構築 ・校外での巡回指導の実施 ・非行防止や薬物、交通に関する講話の実施 ・必要に応じた全体、学年アセンブリの実施 ・生徒会行事の充実 ・生徒の主体的な企画運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題など問題行動の予防的指導が行われているか。 ・年1回以上の講話の実施 ・役員会の定期的開催。 ・生徒会行事への生徒参加率の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日校外での巡回指導を行ない、生徒の実態把握や些細な変化に気付き即座に対応できるように努めた。 ・関係機関と連携し生徒指導関連講話を3回実施した。 ・生徒の行事参加率は53%で前年度比+4%であった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な生徒指導のため、教員間の連携強化と個々の指導力向上が重要である。 ・生徒の人格形成のため人権教育を充実させ、予防的指導を目指す。 ・生徒会活動への生徒参加率をさらに向上させるため、行事内容を検討する。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・就業環境、年齢の問題、社会への適応力、発達上の課題等を内包している生徒も多く、進路指導上の状況改善が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの就業状況の把握と必要に応じた職場訪問の実施 ・生徒の意識向上に向けた進路関係行事(キャリア学習やインターンシップ)の実施 ・進路や就業のための情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の就業状況の教員共有率100%をめざす。 ・適切な時期に計画的に行っているか。 ・定期的、計画的な情報提供が行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の評価では、共有率は69%であった。 ・進路行事は適切に行っていると考えるが、生徒の参加率が課題として残った。 ・情報提供に関しては、生徒評価は71%、教職員評価では100%と認識に差がある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・100%達成のために何が必要なのかを検討し、改善できるところから積極的に改善していく。 ・参加率向上や認識の差を埋めるために、低学年からの進路指導や単位修得指導を充実させることが重要である。

学校関係者評価	
平成31年2月26日～3月8日	実施
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>校長を除く、本校の学校運営協議会委員9名に学校評価アンケートを依頼し、5名の方から回答を得た。 アンケートの依頼は2月26日(第4回学校運営協議会の場)で、回答締切は3月6日。事前に遅れる旨の連絡をいただいた方の回答を待ち、3月8日に集計した。</p> <p>その結果、学校運営、教育活動については、概ね良好な評価をいただいた。</p> <p>また、下記のご意見やご提言もいただいた。 ・今後とも引き続き、一人一人にあった支援をお願いします。 ・一生懸命授業を聞いている生徒も居れば、昼間の仕事の疲れから居眠りする生徒、ゲームをする生徒。もう少し生徒をかためて(バラバラに座らないように)してはどうでしょうか? ・生徒の立場で授業を直接受けてみたい!この様な機会があればと思います。</p>	